

洪水・土砂災害対策

避難のタイミングは？

台風などによる大雨や洪水、土砂災害の危険が迫ったとき、どのタイミングで避難すればよいのでしょうか？気象情報を常に確認してください。次のような避難情報を町が発表したときは、避難行動を開始、または避難の準備を始めてください。なお、身の危険を感じたときは、避難情報の発表を待たずにご自身の判断で行動を開始してください。

避難情報の種類	内容及び状況	とるべき行動
避難準備情報・高齢者避難開始	避難に時間を要する方（ご高齢の方や、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しなければならない段階であり、被害の発生する可能性が高まった状況。	・避難行動に時間を要する方は避難行動を開始してください。 ・通常の避難ができる方は、気象情報に注意し、避難の準備を整えてください。
避難勧告	災害発生の恐れがある場合に出すもので、速やかな避難場所への避難を勧めるもの。	・身の安全を確保し、家族、近所で助け合いながら避難してください。
避難指示（緊急）	災害発生の危険が切迫している又は、災害が発生した場合に出すもので、速やかな避難場所への避難を強く求めるもの。	・直ちに避難してください。 ・避難が困難な場合は、自宅の2階や近くの高い頑丈な建物に避難してください。

地震・津波避難に対する安全対策

地震の場合又、津波から、すばやく安全に避難を開始するためには、身の回りの安全対策がとても大切です。

● 室内の安全対策

- ①安全に避難するため、日頃の整理整頓が大切です。
- ②避難経路になる廊下や玄関には家具類を置かない、または配置を考慮するようにしましょう。
- ③食器棚やタンス、電化製品など、転倒や飛散すると危険な家具は専用器具で安全対策を施しましょう。

● ブロック塀の安全対策

建築基準法における、基準を満たさないブロック塀や、老朽化したブロック塀は、非常に危険です。倒壊による人的被害はもとより、地震・津波等からの避難の妨げになる恐れがあります。適切な管理をお願いします。

和歌山県防災ナビ アプリが配信されました！

南海トラフなどの大規模災害時の確かな避難を促進するため、防災アプリが配信されました。次のような機能がありますのでお知らせします。

- ①避難先検索：・災害発生時に安全に避難するための避難場所を検索できます。
・避難場所の安全レベルを確認でき、現在地からの最短ルートを表示できます。
- ②防災情報のプッシュ通知：登録なしで、避難勧告等の防災情報が通知されます。
- ③安否確認：家族等でグループ登録をしておけば、現在地を地図上で確認できます。
- ④避難トレーニング：自宅等から高台などの避難場所まで実際に避難のトレーニングをすることで、避難経路や避難に要した時間などを記録できます。また、地震発生後の時間ごとの予想津波浸水区域の確認もできます。



ダウンロードは、グーグルプレイ、
アプリストアから無料でできます。



はじめよう！ 防災対策

総務広報課地域防災係（16番窓口） ☎ 64 - 1108

6月に震度6弱を記録した大阪北部地震、さらには7月の超広範囲の豪雨により、西日本を中心に甚大な被害が発生しました。また、これからは、全国的に台風の発生しやすい季節となり、湯浅町でもいつ災害が発生してもおかしくありません。今一度防災対策の知識を深め、災害に備えましょう。

心がけからはじまる防災 ～決めておこう、家族の約束～

避難後の集合場所を決めておこう



災害直後はバラバラになったとしても、最終的に集合する一時避難場所、避難所等をあらかじめ決めておくこと、たとえ連絡が取れなくても集まることができず。

避難経路を決めておこう



災害発生時に逃げるいくつかの避難経路を決めておくことで、災害発生後、すぐに避難行動に移ることができます。

非常時の持ち出し品を決めておこう



あらかじめ持ち出すものを準備しておくことで、災害発生後、すぐに避難行動に移ることができます。

非常用持ち出し袋のすすめ

一人にひとつ準備しよう



ひとそれぞれ必需品は違います。自分専用の持ち出し袋を準備しましょう。

できるだけ軽く



避難の妨げになるような重さにならないよう、無理のない重さで、動きの制限がかけられない範囲の大きさで準備しましょう。

備蓄食料は消費しながら管理



非常時に持ち出す備蓄食料は、缶詰やインスタント食品など、普段消費する保存食を多めに蓄えて管理するようにすると、賞味期限の管理が容易です。